

令和5年度

保谷中学校

3年生

地域とともにある学校づくり

コミュニティ・スクールの充実

西東京ふるさと探究学習

単元名： 西東京を誰もが住みやすい街にするために、できることを考えてみよう
(活動名)

ねらい：
・西東京市への愛着を持ち、地域社会に参加・参画する態度を育成する
・「探求的な見方・考え方」を働かせ、総合的・横断的な学習を通して、よりよく課題を解決する力、社会の中で自己の考えを表現する資質・能力を育成する

【10月】

社会の授業で、「西東京市をよりよくする方法」について考え、班で優先順位をつけた。

優先順位1位(1つ)

優先順位2位(2つ)

優先順位3位(3つ)

優先順位4位(2つ)

優先順位5位(1つ)



【12月12日】

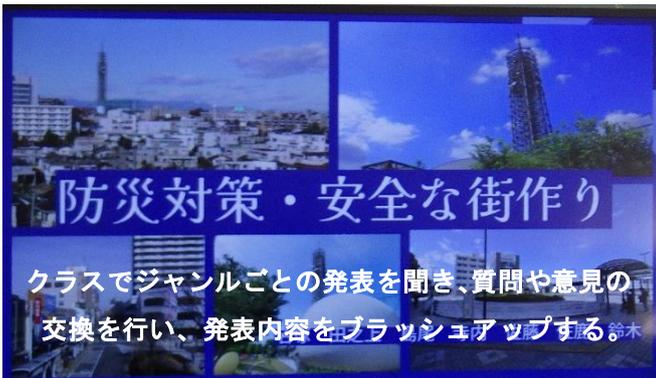
「西東京市をよりよくするための企画・提案を考えよう」

6つのジャンルに分かれグループを作り、個人の提案を発表し、その中から班で提案する内容を絞り込む。

- ①公立中学校・小学校について
- ②地域の自然・広場に関すること
- ③便利な生活のために
- ④高齢者福祉・障害者福祉・児童福祉
- ⑤子育て支援・少子化対策・子供のための施設
- ⑥防災対策・安全な街づくり

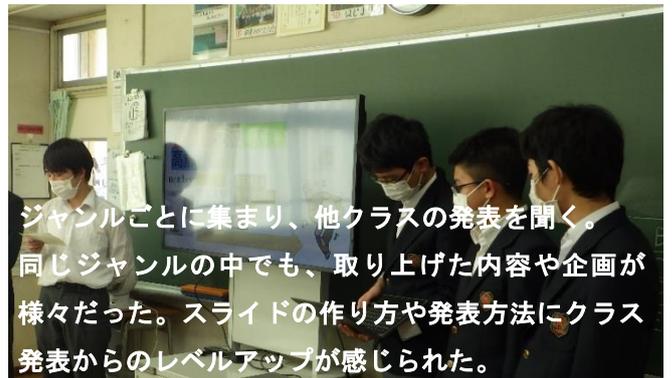
【12月25日】

クラス内発表会



【1月16日】

ジャンル別の発表会



まとめコラム

現在の市内の公園の状況を調べ、学生が球技を楽しめる施設をどこに作るのが良いか検討したグループ。勉強と遊びの両方ができる公共施設の計画。中学生がベビーシッター部の活動として子育てのサポートをする企画。市内の危険個所を防災面・交通安全・防犯面で検証する。障がい者や高齢者の視点で安全な街づくりの提案。など、中学生の柔軟な発想のもと様々な企画が提案されました。スライド作成や発表の方法もレベルアップが感じられました。

生徒の感想から

今まで西東京市についてあまり関心を持っていなかったが、この学習で西東京市についてたくさん調べ、改善の余地を見出すことができた。また、良いところを見つけることもできた。西東京市は目立つことはないが、平和であると感じた。

普段「こうなったらいいな」と思っていることを、企画し形にすることが楽しかった。また、他のクラスの発表を聞き、実際に採用されればよいと思うことが多くあったので、今後の西東京市政に活かしてほしいと感じた。

改めて西東京市の良さを知ることができた。これからも自分の故郷に誇りを持っていきたいと持った。

西東京市がほかの地域と比べてどのような特色があり、どのように良くしていけるのかたくさんの班の発表を聞いて考えることができた。また、発表ではそれぞれの班に個性があり、聞いていて楽しむことができた。他の地域の人にも良さを伝えていけると良い。

自分たちのやりたいことはたくさん思いつくが、そこから予算を決めたりすることが大変だと感じた。特にその企画を実行したときに起こりそうなリスクを考えるのが大変だった。何か一つについて配慮すると、他のリスクが生まれる場面があった。多くの企画にボランティアを集めるという話があったが、簡単には集まらないのではと思った。

同じジャンルでも提案内容は様々で、他クラスのいろいろな考えを知ることができて面白かった。〇〇班の発表では、でてくるだろう課題とそれに対する解決策を出していて、発表の仕方が良いと感じた。もっと時間をかけて学習したかったと感じた。

